

第3回亀有地域観光拠点施設地域検討会 議事録

日 時：令和5年3月22日（水）午後6時30分～午後8時

会 場：亀有地区センター ホール

出席委員：15名出席、7名欠席

出席者：唐松委員、小室会長、斎藤委員、佐々木委員、佐藤（修）委員、佐藤（尚）委員、真田委員、島田副会長、鳥山委員、橋口副会長、長谷部委員、花島委員、平岩委員、平岡委員、鞠子委員

（五十音順）15名出席

事務局：中島観光課長、秋元施設整備担当課長、羽鳥商工振興課長、中村観光担当係長、観光課職員、営繕課職員、株式会社乃村工藝社

議 題：（1）これまでの振り返りについて
（2）令和5年度の検討体制について

<配付資料>

【資 料 1】令和4年度の振り返り

【資 料 2】令和5年度の体制について

【参考資料1】亀有地域観光拠点施設基本設計概要

【参考資料2】亀有地域観光拠点施設地域検討会委員名簿

1 開会

2 挨拶

3 議題

（1）これまでの振り返りについて

質疑応答要旨

- ・運営主体はどうなるのか。
⇒（事務局回答）運営手法として、直営や委託、指定管理者制度などいくつか考えられるが、令和5年度に策定する管理運営計画の中で整理していく。
また、運営の前提となる開館時間や利用料金など、たたき台ができた段階で意見をいただきたいと考えている。
- ・グッズ開発などは運営事業者とは別業者をお願いすることになるのか。
⇒（事務局回答）開発の枠組みを含め、令和5年度に検討していく。その際、地域の皆様からもやり方に関する意見や具体的なグッズ案に関する意見等をいただきたい。意見を含めた検討結果を踏まえて進めていく想定である。
- ・住民に対して、現時点ではどういった周知を行っているか。
⇒（事務局回答）現状は、住民説明会や区ホームページで設計概要などを周知している。まだ足りていない部分があるので、令和5年度以降、広報PRの部分を地域の皆様と考えていきたい。

- ・季節性を加味した企画をお願いしたい。観光課が実施することになるのか。
⇒（会長回答）観光課が実施するものもあるかと思うが、ほかのイベントとの兼ね合いもある。具体的にそういった話がでてきたら意見をいただきたい。

意見要旨

- ・回遊という面で、現状も駅前は盛り上がっているが、少し外れるとそうではない。各町会が持ち回りでイベントを実施するような形を取ればより良いのではないか。

（２）令和５年度の体制について

質疑応答要旨

- ・ワーキンググループについては、各商店街から１名なのか、商店街協議会から１名なのか。
⇒（事務局回答）案として、商店街協議会からテーマごとに１名出していただけたらと考えている。
- ・テーマは決まりなのか。
⇒（会長回答）「地域回遊・連携」「グッズ開発」「広報・PR」の３つのテーマとしている。これ以外にも出てくるかもしれないが、その場合はどこで取り扱うか調整しましょう。
- ・委員の任期は。
⇒（会長回答）基本は夏から秋の３か月くらい。ここで一度締めるが、今後同じメンバーで引き続き行うか、入れ替えるかについては、検討会と事務局で協議しましょう。
⇒（事務局回答）施設開館後も引き続き地域の皆様から意見をいただく体制に繋がればという期待もある。
- ・３つのテーマと書いているが、どういった展示をするのか、どう集客するのかという部分が抜けているのではないか。
⇒（会長回答）今年度意見をいただき、展示がどうなるかは見えてきている。今は具体的な部分に入りつつある段階。
⇒（事務局回答）今いただいた意見は、まさに集客に関するもの。大きく３つに分けたテーマそれぞれに集客に関わる部分があるが、特に広報・PRなどは、具体的なアイデアが求められるものと考えている。
- ・グッズは両さん目線で開発するのか。新しい目線で開発するのか。
⇒（会長回答）両さんの要素は何らかの形で取り入れながら作っていくことになると思う。ただ、直接的なのか間接的なのか、具体的な部分についてはワーキンググループで考えていきましょう。
- ・商店街の現状を考慮すると、人を出すのは難しい。
⇒（会長回答）検討会の委員全員がワーキンググループに入るのは難しいので、商店街協議会から３人としている。あるいは、推薦できる人がいれば第二段階として推薦いただく形もある。いずれにせよ、ワーキンググループで検討したことはこの検討会にあがってくるので、その段階で意見をいただくことは可能である。
⇒（事務局回答）あくまでたたき台であり、地域検討会の構成などを考慮して割り

振らせていただいた。無理強いするものではないので、すこしでも面白そう
だと思った方がいればお願いしたい。もしくは、身近にこち亀ファンの方が
いたり、推薦できそうな団体がいたりする場合も教えていただきたい。ま
た、基本的な資料やたたき台は事務局で用意するつもりなので、そこまでの
ご負担をおかけするものではないと考えている。

- ・ワーキンググループの開催日程や会場などは各々が個別に決めるのか。
⇒（事務局回答）要望に応じた実施方法が可能。ただし、使用料などは事務局で負
担することを考えている。
- ⇒（会長回答）オンラインミーティングも良いかもしれない。

意見要旨

- ・今回の事業は亀有の発展のチャンスなので、地域としてやらなければいけないの
は、いかに回遊させるか。また、広報 PR を町会や商店街、関係機関等の亀有全体で
出来ないか。
- ・広報 PR、地域回遊という部分では、最近のトレンドを踏まえた形で実施しないと
いけない。ぜひ年齢に偏りのないグループを作りたい。
- ・時間がない中でこう言った委員構成になっているかと思うが、この少なさと一人
あたりにかかる責任の重みが大きくなるような感じがする。検討内容によっては処理
できないかもしれない。
- ・若い力を取り入れるのであれば、教育委員会などと連携し、小中学校に集団で取り
組んでもらうとか、東京理科大学の都市計画や建築系の学部生と連携するなど、委員
構成を多彩にしても良いのではないか。
- ・取引先でグッズ等に関わっている方もいるため、そういった方から意見を吸い上げ
ることも可能かと思う。
- ・参加方法について、本来の趣旨と異なるかもしれないが、アンケートなど選択式を
ベースとした意見聴取を広く行うのも効果的ではないか。
- ・地区委員会や PTA 連合会にあたってみるのも良いのでは。
- ・ワーキンググループの会場として神社の境内などを使っても良いのではないか。

4 今後の予定

今後の予定について報告した。

5 閉会